

畜産みやぎ

題字
宮城県知事 山本 壮一郎

発行所
仙台市上杉一丁目2番16号

宮城県畜産会

電話 (262-9180)

編集発行人 百井 英一

定価 1部60円

印刷所 K K東北プリント



巳どし

もくじ

会長年頭のごあいさつ…… 2

知事年頭のごあいさつ…… 3

創立40周年を祝う…… 4

体外受精により子牛誕生…… 5

「茂重波」を顧みて…… 5

昭和63年度に終了した和牛産肉能力間接検定成績について…… 7

クラミジア感染症(オウム病)…… 8

畜産物市況の展望…… 8

年頭のごあいさつ



宮城県畜産会長
百井英一

このたび大行天皇には、崩御あらせられましたのでここに謹んで哀悼の意を表します。

さて、皆様には、ご一家お揃いで新しい年をお迎えのことと存じます。

昨年は、異常気象の影響で稲作を始め各農作物は55年の冷害を上回る甚大な被害を及ぼし、誠に痛ましい最悪の年でありました。

こと、畜産を顧みますと、日米との牛肉問題は自由化を前提に決着がみられましたが、輸入自由化は独り牛肉のみでなく他の総ての畜産物にも影響を与えるものとして深刻に受け止めざるを得ません。

幸い牛乳については、未だ生産調整下にあるものの、昨年来かなりの生産緩和が行なわれ酪農家にとって明るい兆しとなっております。

また、肉用牛の子牛価格は依然高値基調で推移しているため、特に平場において転作と結びついた生産意欲が高まり、増頭対策として県が提唱し

ている「宮城和牛の郷づくり」の推進上何より喜ばしいことと存じます。

然し、肥育農家では素牛高のため厳しい経営を余儀なくされていますので、今後は条件の許す限り一貫経営の工夫をこらすことなどと併せ、何れの部門においてもこれまで以上に低コスト生産に必要な取り組みが緊急な課題と考えられます。

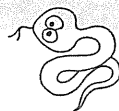
この意味において、当会では肉用牛の高位水準化を図ることを目的とした個体毎のコンピューター処理や、大家畜の低コスト生産新技術について取りまとめのうへ経営改善に役立てて貰うこととしております。

養豚については、頭数の漸増傾向を示し価額面でも時期的変動がみられたものの総じて再生産に支障のない経過を辿りましたが、今後はさらに高品質のものの生産性向上が望まれます。

なお、当会では昨年来特色ある畜産物に関して「オリジナル畜産マーケット調査」を行い地域の振興に寄与することとしております。

牛肉自由化は実質2年有余となり、足早にやってくることを想うとき、今こそ英知と努力を傾注して低コスト生産に備えるべきと考えられます。

当会としても、本来の使命であるコンサルタント事業を始め、関係諸事業を通じ足腰の強い畜産の確立に向けて微力を尽して参る所存ですので、関係各位の一層のご支援とご協力を切にお願い申し上げます。新春のご挨拶といたします。



飼料は  まるきた印

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー配合飼料
肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号

TEL 石巻 0225 (22) 6111

FAX 石巻 0225 (22) 6116

動物用
医薬品 (牛専用)

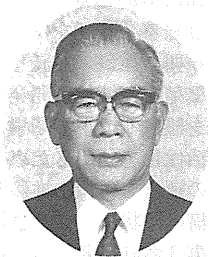
トルラミックス
特殊酵母+必須ビタミン+ミネラル配合

株式会社 トーシン

古川市古川字上古川屋敷9番地の1

TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)

多極・重層型の県土づくり



宮城県知事
山本 壮一郎

このたび大行天皇には 崩御あらせられました誠
誠に哀悼にたえません

宮城県民を代表してここにうやうやしく弔意を
表したてまつります

さて、県民の皆様には、御家族おそろいで新年
をお迎えのことと存じ上げます。

昨年は記録的な異常気象に見舞われ、農家の方々
をはじめ、農業団体等関係者の懸命の努力にもか
かわらず、多くの農作物に昭和55年度を上回る
被害を被り、農家経済はもちろんのこと、地域経
済にも大きな影響を受けるなど、本県にとって誠
に厳しい試練の年でした。

一方、学術、技術、情報首都の構築を目指す
「東北インテリジェント・コスモス構想」が実現
に第一歩を踏み出したのをはじめ、国際化時代
に向けた空港・港湾の整備、東北初の横断自動車
道の開通など、基盤づくりが着々と進む中、遷都
構想での有力な地域として東北・宮城が脚光を浴
び、まさに東北新時代の夜明けを象徴する年でも
あり

ました。

さらに、仙台北部中核工業団地の分譲開始、阿
武隈急行線の全線開業、東北新幹線「栗原登米
(仮称) 駅」の着工など、活力ある地域づくりを
支援するプロジェクトも力強く始動しました。

新しく迎えました本年は、折しも俳聖松尾芭蕉
による奥の細道紀行300年と相まって、東北初
の政令指定都市・仙台が誕生するなど、本県はい
まや全国から大きな期待と関心が寄せられてい
ます。

21世紀は東北・宮城の時代です。国土づくり
におけるニューフロンティアの舞台にふさわしく、
いまこそ県民各界各層の方々の英知を結集して
“多極・重層型の県土づくり”を進めて参らねば
なりません。

農業の分野におきましても、一段と厳しい諸情
勢への的確な対応を図り、社会経済の変化や気象
変動にも耐えうる足腰の強い農業を確立すると
ともに、人間性豊かな地域社会の創出、やすらぎ
の場の提供など農業・農村の果たしている多面的
機能の充実を促進し、21世紀にふさわしい魅力
と活力のある農業・農村地域づくりを進めて参
ります。

このため、集落ぐるみの農業生産システムの確
立、農業生産基盤の整備、バイオテクノロジー等
の高度技術の活用などを一層推進し、力づよい宮
城米づくりや、畜産においては「みやぎ和牛の郷
づくり」運動を全県的に進め、肉用牛等の振興
を図るほか、園芸とを組み合わせた多彩な複合
経営の促進、農村地域の定住環境整備などに積
極的に取り組んで参る所存であります。


皆様方により一層のご理解とご協力をお願い
いたします。

年頭に当たり、皆様のみまますのご健勝、ご
活躍をお祈り申し上げ、ごあいさつといたしま
す。

新発売

くみあい配合飼料
種豚用
ヘルシーハイブリード72
(抗ストレス・健康増進)

肉豚用
スペシャルCホワイトフレーク
(肉質改善飼料)

 農協・宮城県経済連・全農

2年連続上物数

日本一!

仙宮米

正統の
育ちと味

仙台牛銘柄推進協議会

創立40周年を祝う

宮城県畜産農業協同組合連合会

本年11月をもって創立40周年を迎え、その記念式典を去る11月30日に仙台市内で関係者200名の出席を得て挙行いたしました。式では山本知事(代読)、浜田東北農政局長、駒口県農業中央会長他の祝辞を頂き、永年勤続役職員の表彰と、本会事業に協力下された、市町並びに団体と個人に感謝状の贈呈を行い併せて過去40年の歴史と実績を集録した「宮城県畜産史」を作成し創立40周年の行事といたしました。



本会は、郡畜産農業協同組合の連合体として、昭和23年10月に設立し、名称を宮城県畜産指導農業協同組合連合会として発足し、主として会員に対する畜産技術指導を主体として運営をしておりましたが、事業の強化拡大をはかるため昭和27年7月、宮城県畜産事業農業協同組合連合会と改称、更に宮城県畜産農業協同組合連合会と改めて現在に至っております。

その間に事業の推進と相俟って組織と機構を整備し、主な郡畜産農業協同組合より事業の移譲を受けて基幹部門であります家畜市場の再編整備を行い、施設の充実と運営の合理化に努力を傾注しました。又購買事業として飼料資材の取扱い、家畜人工授精用精液配布の一括取扱業務や、販売事業部門での肉牛、種豚預託、

家畜の国内外からの斡旋事業、肉畜の共同出荷事業、家畜市場では本会傘下系統での取引頭数、子牛1万数千頭、成畜1万8千頭、肥育牛1千頭、乳牛百頭、子豚8万数千頭、種豚2千頭、和牛2歳牛2百頭合計10万余頭の年間取引数をみており、絶えず購買者のニーズに合うような品質向上と増頭に努めております。指導事業として、乳牛、和牛の登録事業受託をはじめ、国や県の酪農や肉用牛関係の振興の施策の委託を受け、更に乳用牝子牛の哺育と子豚繁殖経営の技術開発と普及を図るため高清水町に牧場を設置し(現在閉場)、昭和62年11月には本会事業の活性化をはかるため「宮城県畜産ビル」を建設し、その運営も順調に推移しております。また本会の組織機構の現状は、会員数17団体、役員として理事12名、監事3名計15名、職員は事務職、男3名、女15名、技術職男34名、嘱託職員2名の計54名のスタッフで、柴田、仙台、石巻、遠田、古川、栗原、登米の7支所、亘理と玉造の2出張所を置き、本県畜産業の振興発展と、畜産団体の中核として総力を上げて邁進、努力をいたしておるところであります。

畜産業を取り巻く環境はますます厳しくなる一方で、本会は、いま40周年の記念すべき年を迎えて、本県畜産のさらなる発展、さらに畜産農家の繁栄を願って一層の工夫と努力を重ねて参る決意を固めております。どうか関係機関、団体並びに関係皆様の尚一層のご支援とご指導を切望申し上げる次第であります。

(事業部、太田正己)



動物用薬品器材のこなら 古い伝統
と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL (225) 7330・7338・7339

仙台営業所 仙台市上杉三丁目3-8

022 (225) 7338-9

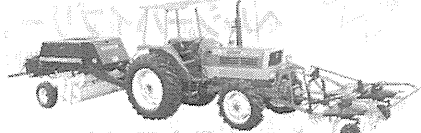
古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28

0229 (34) 2018-9

仙北営業所 登米郡迫町佐沼字萩1

0220 (22) 2278

WORLD **カボタ**
サンヒコタン



株式会社 **五十嵐商会**

仙台市卸町五丁目1番地4
電話 (022) 236-2525(代表)

体外受精により子牛誕生

宮城県畜産試験場

牛の体外受精とは、牛の卵巣から未成熟の卵子を取り出し、体外(試験管内)で成熟させ、受精させた後移植できる状態まで发育させて借腹牛(受卵牛)に移植し、子牛を生産する技術です。畜産試験場では、この技術の基礎的な研究に着手していますが、このほど第1例目の子牛生産に成功しました。



体外受精で生まれた子牛と受卵牛(生みの親)

昭和62年2月、と殺されたホルスタイン種の新鮮卵巣と黒毛和種の精液を用い上記の方法で体外受精卵を作り出しました。移植できるまで发育したものを凍結保存しておき、2月26日に融解し、蔵王町内の農家の牛(ホルスタイン種)に移植したところ受胎し、同年12月3日に元気な雄の子牛が無事誕生しました(この例では卵巣の採取や移植にあたり、県山北食肉衛生検査所、蔵王町の受精卵移植師沼辺一郎さんの協力があったことを申し添えておきます)。移植まで受精卵を完全に試験管内で发育させた例としては、都道府県レベルでは最初の成功例になります。今回生まれた子牛はホルスタイン種と黒毛和種との雑種ですが、黒毛和種の卵巣を用いることにより純粋の黒毛和種を作ることも可能です。

体外受精に関連する諸技術は、ほとんどが未確立であり、これらを着実に克服して行くことにより、肥育素牛生産用の受精卵が安価で生産され、また移植による双子生産技術と併用することで肉用牛の低コスト生産に結びつくものと期待されます。

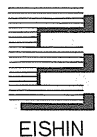
さらに、この技術が確立されることによりコピー牛(クローン牛)作りのための核移植技術への取り組みの糸口が得られることにもなります。

(宮城県畜産試験場 受精卵研究科 石川勇志)

「茂重波」を顧みて

亶宮城県肉用牛価格安定基金協会

仙台牛の高級イメージづくりに大きく貢献し、しかも生存中に銅像が建てられ話題となった黒毛和種雄牛「茂重波」号が昨年1月23日、県畜試でへい死してから早や満一年になりました。ご承知のとおり茂重波は昭和49年6月に兵庫県から導入され翌7月から精液の分譲を始めたが終生まで生産子牛は約43千頭、この子牛は県内平均価格に対し一頭当り10万円以上の高値で取引され、しかも肉牛の上物率は72.8%と全国最高を記録し本県産牛の評価を一気に高めた功績は計り知れないものがあります。茂重波のへい死後は多少なりとも凍結保存されておりますが一時最盛期は市場の約3割を占めた生産子牛も当協会が調べた昭和63年4月から11月までの8ヶ月間、短期間の資料では別表(1)に示すように全体取引頭数の6%前後と減少いたし、また子牛価格も(2)に表わすとおり平均価格に対し雌牛で約20万円、去勢牛で約10万円、雌去平均で実に15万円余の高値となり、生体kg当り単価でも別表(3)のとおり2,112円で平均価格、その他種雄子牛とも比較ご検討願います。特述したいのは通常の場合、雌より去勢が高値になりますが同牛の場合は反対で雌牛が去勢牛より高値に取引されているのが実態であります。これはどんな意味を現すかご意見のあるところでしょうか。要はこの雌子牛がこれからの貴重な繁殖基礎雌牛と



クスリの総合卸

株式会社 **エーシン**

EISHIN

取締役社長 山田 修造

畜産営業所 仙台市木町通り1-5-19 ☎(022)267-7211

古川市福浦字道の上137-1 ☎(0229)24-1211

本社 仙台市卸町2丁目10-3 ☎(022)284-8111

より豊かな明日の農業のために

STAR



頼もしい働き者
牧草梱包稲わら梱包に!!

Mr1000 Mr2000DX
Mr3000DX、Mr4000DX

ハーベラーTHB2020

スター農機株式会社 仙台営業所

985 多賀城市町前2丁目87 TEL022-367-4573
FAX 367-4846

なって、しかも将来に向けて自由化にも影響されない牛作り経営戦術の意欲の表われが高値に結びついているものと思われてなりません。どうか関係者の多くの皆さん、茂重波の雌牛の高値は誠に喜ばしいことですがこの得がたい雌牛の血液が数多く県内の市町村、農協等に保留、導入されて今後、来る時代の本県和牛の原動力に生れ代ることを望んで止みません。この頃の傾向として他県に流れる頭数が多くなっていることを心配するものであります。それと同時に他の種雄牛の今後一層のご活躍とご利用を願うものです。

県内子牛市場における主な種雄牛別の生産子牛の取引状況調

(1) 主な種雄牛別生産子牛の市場取引頭数割合

(昭和63年4月～11月の8ヶ月間)

種雄牛	項目 人工授精開始年月日	繁殖場所	月別市場取引頭数の割合(%)									
			4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	平均		
茂重波	昭49.6.20	宮城県畜産試験場	9%	7%	6%	5%	6%	4%	6%	6.3%		
秋重	57.9.10	"	20	21	20	17	16	21	15	18.0		
波茂	56.9.1	"	15	16	18	18	19	14	17	17.1		
宮滝	58.11.14	"	2	4	8	7	7	5	4	5.5		
安谷	61.10.23	"	-	-	-	1	8	10	7	3.3		
安美金	56.4.30	家畜改良事業団盛岡センター	7	7	4	4	3	3	3	4.2		
谷茂	60.10.1	"	12	11	12	10	10	13	12	11.0		
森正	56.4.30	"	8	10	8	10	9	13	11	9.6		
その他種雄牛	-	-	27	24	24	28	22	17	25	25.0		
計	-	-	100	100	100	100	100	100	100	100.0		



(2) 種雄牛別生産子牛の取引頭数と平均価格

(昭和63年4月～11月の8ヶ月間)

種雄牛	頭数と金額 子牛取引頭数	1頭平均取引価格			備考
		雌牛	去勢牛	計	
県全体	13,495	405,029	493,918	454,549	100.0
茂重波	850	627,038	599,444	610,384	134.2
秋重	2,427	369,102	460,184	417,364	91.8
波茂	2,305	375,530	471,848	429,059	94.3
宮滝	738	395,474	495,530	451,197	99.3
安谷	452	431,268	536,077	491,092	108.0
安美金	568	453,600	546,382	508,322	111.8
谷茂	1,483	409,059	505,808	463,794	102.0
森正	1,293	391,728	486,163	446,067	98.1
小計	10,116	県全体の子牛市場取引頭数の75%相当			

(註) 備考欄は県平均価格を100%とした場合の種雄牛別価格の対比を示したものである。

(3) 主な種雄牛別の生産子牛kg当り取引価格調

(昭和63年4月～11月の8ヶ月間)

種雄牛	kg単価 生体kg当り取引価格			取引時体重		
	雌牛	去勢牛	平均	雌牛	去勢牛	平均
県全体	1,516	1,659	1,600	267	298	284
茂重波	2,340	1,979	2,112	268	303	289
秋重	1,359	1,528	1,453	272	301	287
波茂	1,405	1,585	1,510	267	298	284
宮滝	1,467	1,649	1,573	270	301	287
安谷	1,646	1,840	1,762	262	291	279
安美金	1,733	1,859	1,811	262	294	281
谷茂	1,496	1,664	1,595	273	304	291
森正	1,566	1,719	1,658	250	283	269

(専務理事 鹿又久雄)

TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
東北ティールシーエム株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35
電話 022-259-6351

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地
TEL 0198 264151(代)

古川営業所 宮城県古川市稲葉字大江向179-1
TEL 0229 238888(代)

花巻営業所 水沢営業所 青森営業所
盛岡営業所 大館営業所 八戸営業所
大船渡営業所 横手営業所 山形営業所
酒田営業所 福島営業所

〈畜試便り〉

昭和63年度に終了した和牛産肉能力間接検定成績について

宮城県では昭和55年から和牛産肉能力間接検定が実施され、今年第7回間接検定が終了しました。本検定を通じて、波茂、秋重、南波竹、杉波や波宗などの特色のある優れた宮城県産の種雄牛が造成され、これらを基幹種雄牛として地域の肉牛改良を進めてきました。この間接検定は特定種雄牛の去勢子牛を宮城県岩出山牧場で364日間肥育し、肉量および肉質を調査し、遺伝的産肉能力を検定するものです。今回検定した種雄

表1 検定種雄牛の概要

検定種雄牛名	生年月日	血統		生産地	直検DG kg
		父	母方祖父		
茂糸波	59.9.15	茂重波	第7糸桜	登米郡南方町	1.56
茂栄	59.8.15	茂重波	安美1	加美郡色麻町	1.31
第2波茂	59.11.2	茂重波	神鉄8の6	遠田郡南郷町	1.22
糸安波	60.1.18	杠	安美1	栗原郡花山村	1.29

牛は表1に示す通り茂糸波、茂栄、第2波茂と糸安波の4頭です。本検定結果の概要を表2に基づいて紹介します。

表2 第7回間接検定成績結果

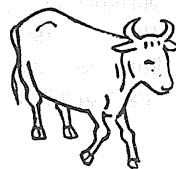
検定種雄牛名	検定頭数	DG kg	ロース芯面積 cm ²	推定歩留 %	脂肪交雑 (BMS)
茂糸波	10	0.81	46	73.5	2.3
茂栄	9	0.80	47	73.9	2.8
第2波茂	10	0.85	55	74.6	3.0
糸安波	10	0.90	45	72.5	2.0
全国平均 ¹⁾		0.87	44.5	73.1	2.1

1) 全国和牛登録協会調 昭和62年間接検定 昭和63年9月末現在35セット終了成績

①1日平均増体量(DG)は、糸安波が0.90kgと本県間接検定開始以来最も高い増体能力を示しました。しかしながら他の3頭は全国平均の0.87kgと比較して下回っており、本県肉用牛の改良において一層の増体量の改良努力が必要であると思われます。次に②ロース芯面積については、牛枝肉格付規格の改正に伴い今回の検定より測定部位が第6～7胸椎に変更されました。成績は、特に第2波茂は、55cm²と全国的にみても太い牛であることが認められました。同様に③推定歩留についても、第2波茂が74.6%と脂肪が少なく赤肉量の多い種雄牛であることが認められます。④脂肪交雑に関しては、脂肪交雑基準(BMS)の平均値で示しました。全国的にも本県種雄牛は肉質面において優れていますが、特に茂栄と第2波茂はそれぞれ2.8と3.0であり、脂肪交雑が高いことがわかります。

最後に、検定成績から見た検定種雄牛の特徴をまとめてみます。茂糸波は父牛が茂重波、母方祖父牛が第7糸桜の交配で作出された種雄牛であり、血統的には肉質の兵庫系と増体の島根系を兼備したものです。茂栄は父牛が茂重波、母方祖父牛が安美1と兵庫系の血液割合が75%と高く、脂肪交雑の優れたコマーシャル生産に適した種雄牛です。第2波茂は波茂の全兄弟であり、波茂の体型の美点を持ちつつ本県種雄牛としては増体量が大きく、赤肉量も多く、さらに脂肪交雑の高い増体と肉質兼備の種雄牛です。糸安波は父牛を杠にもつ発育の優れた、体型的には体積を目標とする雌牛作りに有効な種雄牛です。

(肉牛科 氏家 哲)



ORION

ともに前進 技術のオリオン

酪農家の

声を反映した製品づくりと安心のおけるアフターサービスはオリオングループの誇りです。



東北オリオン株式会社

本社 〒983 仙台市鶴代町1番68 ☎(022)284-0691

宮城営業所 古川市福浦字道の106番1号 ☎989-61
TEL古川(0229)23-1631



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で

動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷



本店 山形市蔵王成沢字町浦491~2 TEL883121
山形店 山形市山田字羽黒堂5番216 TEL2454306
仙台店 仙台市山田字羽黒堂5番216 TEL2454306
鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57~1 TEL240963
いわき店 いわき市常磐湯本栄田3 TEL0246440300

クラミジア感染症（オウム病）

クラミジア感染症はグラム陰性の細菌に分類され、ヒト、鳥類、哺乳動物にも保有されて様々な疾患の原因となることから、人畜共通伝染病のみならず、家畜・家禽伝染病の病因として恐れられています。

症状はヒトでは突然38~40℃の高熱をもって始まる事が多く、しばしば頭痛、食欲不振、筋肉痛、咳などを伴います。肺炎に移行し適切な診断と治療がなされない場合は重篤な呼吸器症状を呈し、脳炎、敗血症などを合併して死亡する場合があります。感染経路としては感染鳥（特にオウム・インコ類が多い）の分泌物や排泄物の口や鼻からの侵入あるいは感染鳥に咬みつかれて感染します。日本では1985年頃までに65人がオウム病と診断され、9人の死亡報告があります。最近のオウム病抗体検査では健康人で4.4%、呼吸器疾患患者で6.9%が陽性との報告があり、患者の大部分は適切に診断されずに見過ごされているものと考えられます。牛のクラミジア症の発生は1988年新潟県で流産型として報告があります。牛ではこの他呼吸器型、脳炎型、腸炎型、関節炎型、精巣炎型と様々です。牛への感染経路はヒトと違って不明確ですが、ダニなどの吸血や本病に感染し精巣炎を起こした雄牛などからの伝播が疑われています。我国の牛のクラミジア抗体保有率は40%と報告されています。最後に予防対策ですが、クラミジアはヒト、鳥類、家畜を問わず適切な診断と早期の抗生物質（テトラサイクリン系）使用が大事です。特に、牛の場合は感染していても無症状の場合が多く、輸送などのストレスが加わって発病します。そのためにも初期治療の目的でテトラサイクリンを応用すれば、他の細菌の二次感染（特にヘモフィルス・ソムナス症）も阻止するので効果的です。

（仙台家保病性鑑定課 横山亮一）

畜産物市況の展望

肉牛 1月の国内成牛出回り量は、和牛2万9200頭（前年同月比91.0%）乳用種7万1,150頭（同99.1%）と予想される。

12月中旬には、SBSシステムBの第3回目の入札が行われ、23,420トン（受渡し期間64年1月~5月）が放出されることになり、潤沢な出回り量となることから、国産枝肉相場への影響はさげられないもよう。需要は、自粛ムードがあるものの、個人消費面ではあまり影響はでないとの見通しが多いが、業務用については若干の影響はさげられないものとなる。

以上のことから、枝肉相場は和牛A-4、2,000~2,050円の弱含み、乳用去勢牛B-3、1,200円~1,250円前後の弱含みの相場が予想される。

肉豚 農水省発表による1月の全国出荷頭数は1,723千頭（前年同月比103%）の見通しである。国産豚肉価格が低迷するなかで、例年輸入量は大中に減少する時期であるが、前年並の18000トン前後と予想される。需要は、低豚価をうけて国産豚肉の消費拡大運動が3月まで量販店や専門小売店で実施されることになったが、自粛ムードの中で必ずしも拡大につながらない状況になっている。

以上のことから、枝肉相場は上物価格で410円中心で推移するものと予想される。

ブロイラー 農水省発表による1月の全国出荷羽数は60,116千羽（前年同月比104%）と予想されるが、この時期は寒波の強弱によって生体重の増減が大きいので必ずしも多い数量とはいえない。

需要は、年末年始づかれもあり消費は例年低迷期となっている。以上のことから全農相場月間平均でと体大175円/kg、正肉モモ420円/kg中心の動きか。

鶏卵 1月は一段と寒さが厳しくなるため、産卵羽数の減少もあるが月前半は年末年始の産地滞貨玉が大量に出回るため荷もたれは免れないものと予想される。

10月末までの卵黄卵白の輸入通関実績は2,314トン（前年比158,3%）で52.5%はアメリカからの輸入となっている。例年この時期は需要が落ち込むので、Mサイズ基準で200円中心の値動きか。

飼料 飼料価格に大きな影響を及ぼす外国為替相場は、相変わらず円高基調であるものの、米国新大統領の政策や、原油生産動向などにより今後の相場が左右されるものと予想される。このような情勢から、配合飼料価格について平成元年1~6月は、前年7~12月価格据置きと決定したが、今後の国際経済の動向によっては、期中の価格改訂もあり得るものと思われる。

（宮城県経済連畜産部）

ビフィズス菌は
 ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。
活きたまま腸までとどきます。
ビヒダス®
グリーン
ヨーグルト 500ml
 宮酪乳業株式会社 名取市飯野坂五丁目1番3号
 ☎ (022) 384-5181

今後の消費拡大対策について

宮城県牛乳普及協会と宮城県生乳販連では、不需要期に向けての消費拡大対策を下記により実施致しますので、皆さん奮ってご参加下さるようお願い申し上げます。

1. 第3回ヘルシーセミナーの開催

(生乳販連)

- (1)開催月日 平成元年2月17日
 (2)開催場所 仙台市民会館大ホール
 (3)出演者
 イ. 講師 松崎俊久
 (東京都老人総合研究所疫学部長)
 ロ. ゲスト アグネス・チャン
 (4)参加費用 無料
 (5)応募方法

入場希望の方は、官製ハガキに、住所、氏名、年令、電話、職業(2名分)を明記の上、〒980 仙台市錦町1-6-5 宮城県生乳販連「ヘルシーセミナー」係まで2月10日必着でお申し込み下さい。

- (6)来場者へのプレゼント
 当日は牛乳乳製品の特別セールスの開催、乳製品の試食会、お楽しみ抽選会の実施や更に入場者には、もれなくオリジナルミルクグラス、牛乳(1,000cc)等をプレゼントします。

2. 第2回みやぎミルクランドフェアの開催

(牛乳普及協会)

- (1)開催月日 平成元年2月22日~27日
 (24日は大喪の礼の為休みます)
 (2)開催場所 ダックシティ丸光
 (3)実施内容 (各ゾーンの内容)
 イ. WELCOMEゾーン
 (集客、記念品の配付等)
 ロ. 料理講習、ドリンクゾーン
 (牛乳乳製品料理等試食コーナー)
 ハ. 販売ゾーン
 (牛乳乳製品等の試食会販売)
 ニ. デモンストレーションゾーン
 (手作りヨーグルト等の実演試食)
 ホ. 抽選会ゾーン
 (来場者に対する抽選会の実施)
 ヘ. ヘルシーチェックゾーン
 (健康チェックコーナー)
 ト. イベント・プレイゾーン
 (各種講習会、ゲーム等の開催)
 チ. 普及PRゾーン
 (牛乳乳製品のPR、消費者相談)

3. 第4回ミルクレディーコンテストの開催

(牛乳普及協会)

- (1)開催月日 平成元年2月12日
 (2)開催場所 仙台市フォーラス7F
 (3)入場料 無料
 (4)一般審査員応募方法

官製ハガキに住所・氏名・年齢・TEL・職業を明記の上、宮城県牛乳普及協会「審査員」係にご応募下さい。(住所は生乳販連と同じ)
 以上各種行事を2月に予定しておりますので関係者のもとより、生産者各位も是非ご参加下さるよう重ねてお願い申し上げます。

(武田)

発育促進・食欲増進・栄養補給に

バイミルク

ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

日本全葉工業株式会社

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

宮城県農業協同組合中央会長	駒	口	盛
宮城県経済農業協同組合連合会長	星		長 蔵
宮城県信用農業協同経合連合会長	大	江	富 一 郎
宮城県畜産農業協同組合連合会長	大	石	武 一
宮城県農業共済組合連合会長	大	沼	茂 三
宮城県生乳販売農業協同組合連合会長	伊	藤	宗 一
宮城県農業公社理事長	門	傳	勝 二 郎
宮城県草地協会会長	氷	室	眞 悟
宮城県獣医師協会会長	鈴	木	新
宮城県酪農協会会長	高	橋	国 雄
宮城県ホルスタイン協会会長	佐	藤	利 吉
宮城県軽種馬協会会長	大	石	正 光
日本種豚登録協会宮城県支部長	千	葉	清 治
日本あか牛登録協会宮城県支部長	星		長 蔵
全国和牛登録協会宮城県支部長	佐	藤	利 吉
宮城県肉用牛協会会長	百	井	英 一
宮城県家畜畜産物衛生指導協会会長	横	山	崇
宮城県牛乳協会会長	佐	藤	利 吉
宮城県家畜商協同組合長	大	石	武 一
宮城県養鶏協会会長	岩	谷	寿 夫
宮城県ホルスタイン改良同志会長	三	浦	誉 夫
宮城県家畜人工授精師協会会長	遠	藤	真 治
宮城県肉用牛価格安定基金協会会長	小野寺		完 夫
宮城県養豚改良協会会長	星		長 蔵
宮城県牛乳普及協会会長	伊	藤	宗 一
宮城県畜産協会会長	百	井	英 一

(順不同)